



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月5日

上場会社名 大日本印刷株式会社  
 コード番号 7912 URL <https://www.dnp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北島 義斉  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報本部長 (氏名) 佐々木 大輔

TEL 03 6735 0124

四半期報告書提出予定日 2020年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	323,551	6.1	9,648	30.2	13,585	20.3	7,401	58.9
2020年3月期第1四半期	344,575	0.5	13,823	15.6	17,040	12.1	18,015	77.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 34,089百万円 (11.0%) 2020年3月期第1四半期 30,720百万円 (5.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	26.35	26.21
2020年3月期第1四半期	59.69	59.68

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,720,989	993,484	54.7
2020年3月期	1,721,724	968,574	53.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 941,498百万円 2020年3月期 915,779百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		32.00		32.00	64.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		32.00		32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,340,000	4.4	40,000	28.9	48,000	24.7	21,000	69.8	74.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	324,240,346 株	2020年3月期	324,240,346 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	43,359,688 株	2020年3月期	43,359,344 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	280,880,852 株	2020年3月期1Q	301,819,359 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場の動向などを前提として作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。当社は、2020年8月7日(金)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会(電話会議)を開催いたします。また、当日使用する説明資料は、当日の15時頃に当社ウェブサイトへ掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるDNPグループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染防止に向けた外出自粛や休業要請等の影響により、世界的に景気が急速に悪化し、各種印刷物の需要も落ち込むなど、厳しい状況が続きました。一方、テレワーク（在宅勤務）やネット通販が広がるとともに、教育ICT（情報通信技術）やオンライン診療などへの期待が高まったほか、世界的な環境意識の高まりから、環境に配慮した製品・サービスへの需要が増大しました。

このように経済・社会・環境が大きく変化するなかで、DNPグループは、収益性と市場成長性の2つの軸に基づいて設定した「IoT・次世代通信関連事業」や「環境関連事業」などの注力事業を中心に、経営資源の最適配分や競争力強化のための構造改革に取り組み、強い事業ポートフォリオの構築に努めました。また、「環境」及び「人財・人権」に関する取り組みを強化するなど、グループ全体の持続可能な成長を支える基盤強化に注力しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のDNPグループの連結売上高は3,235億円（前年同期比6.1%減）、連結営業利益は96億円（前年同期比30.2%減）、連結経常利益は135億円（前年同期比20.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は74億円（前年同期比58.9%減）となりました。

部門別の状況は、以下のとおりです。

なお、2019年10月に発売したアルコール飲料の販売増加にともない、当第1四半期連結会計期間より、従来「清涼飲料事業」及び「清涼飲料部門」としていた名称を、それぞれ「飲料事業」及び「飲料部門」に変更しております。

## 【印刷事業】

## ・情報コミュニケーション部門

情報イノベーション事業は、マイナンバーカードを中心としたIDカードのほか、人手不足や働き方改革の対策のひとつとして企業等の業務を代行するBPO（Business Process Outsourcing）関連の事業が順調に拡大しました。一方、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催延期をはじめとする全国のイベント中止の影響や、キャンペーン等の広告需要の縮小に加え、パンフレットやカタログ等の紙媒体の落ち込みもあり、当事業全体では減収となりました。

イメージングコミュニケーション事業は、外出自粛の影響などによって、外出先での写真撮影やプリントの機会が減少し、関連する製品・サービスの販売が大幅に落ち込み、減収となりました。

出版関連事業は、外出自粛や休校等によって自宅で過ごす機会が増えるなか、書店とネット通販、電子書籍販売を連動させた「honto」事業の電子書籍販売が順調に推移しましたが、書店の売上が営業時間の短縮や休業によって大幅に減少したことに加え、紙の出版物の市場縮小が続き、書籍・雑誌の印刷受注が減少した結果、当事業全体では減収となりました。

当部門の営業利益については、売上の減少により減益となりました。

その結果、部門全体の売上高は1,721億円（前年同期比9.7%減）、営業利益は35億円（前年同期比48.0%減）となりました。

## ・生活・産業部門

包装関連事業は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、医薬・衛生材料向け包材や家庭用の食品包材の需要が増加しましたが、外出自粛によって飲料や土産品、飲食店向け等の業務用包材が減少して、当事業全体では減収となりました。

生活空間関連事業についても、感染症の影響により、国内の住宅建築やリフォームの延期・休止が増加し、減収となりました。

産業用高機能材関連事業は、リチウムイオン電池用バッテリーパウチが、普及が進む電気自動車向けのほか、テレワークの広がりなどによってタブレット端末やスマートフォン向けも増加し、増収となりました。

当部門の営業利益については、産業用高機能材関連事業の拡大や原材料価格の下落などがあったものの、全体では減収の影響が大きく、減益となりました。

その結果、部門全体の売上高は909億円（前年同期比4.3%減）、営業利益は17億円（前年同期比6.3%減）となりました。

・エレクトロニクス部門

ディスプレイ関連製品事業は、新型コロナウイルス感染症による得意先企業の作業時間短縮などの影響を受けたものの、有機ELディスプレイを採用したスマートフォンの普及にともない、有機ELディスプレイ製造用のメタルマスクは安定して推移しました。一方、液晶ディスプレイ用カラーフィルターは、需要の減少を踏まえ、事業整理を進めたことにより、減収となりました。光学フィルム関連は、有機ELディスプレイ向けが伸びたほか、液晶ディスプレイ向けもタブレット端末やモニター用がテレワーク等による家庭での需要の高まりもあり増加した結果、当事業全体で増収となりました。

電子デバイス事業は、半導体市場で製品開発に遅延が見られたことなどから、半導体製品用のフォトリソマスクが減少し、減収となりました。

当部門の営業利益については、電子デバイス事業が減少した影響などにより、減益となりました。

その結果、部門全体の売上高は484億円（前年同期比0.8%増）、営業利益は95億円（前年同期比8.6%減）となりました。

【飲料事業】

・飲料部門

外出自粛の影響によって観光地や飲食店等での需要が減少するなか、「綾鷹 濃い緑茶」など主力ブランドの新商品の発売、自動販売機事業、量販店向けの販売促進活動などを強化し、既存市場におけるシェア拡大や新規の顧客獲得などに努めました。

部門全体の売上高は、小型ペットボトル製品や新製品のアルコール飲料「檸檬堂」の販売が増加したほか、北海道外のボトラーへの販売増もあり、124億円（前年同期比5.3%増）となりました。また、営業利益は、売上の増加に加え、徹底したコスト削減の効果により、31百万円（前年同期比90.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産については、総資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ7億円減少し、1兆7,209億円となりました。

負債は、賞与引当金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ256億円減少し、7,275億円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ249億円増加し、9,934億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、未定としておりました。今般、再度の社会的制限が行われないことを前提に、現時点で入手可能な情報に基づき、合理的な見積もりが可能と判断いたしましたので、公表することといたしました。

また、2021年3月期の配当予想につきましても、これまで未定としておりましたが、通期連結業績予想の公表に伴い、中間配当金、期末配当金いずれも前期と同額の1株当たり32円、年間の配当金を前期と同額の1株当たり64円と予想しております。

なお、通期連結業績予想及び配当予想の詳細につきましては、2020年8月5日付「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	373,013	347,431
受取手形及び売掛金	330,798	307,672
有価証券	18,000	18,000
商品及び製品	78,199	84,442
仕掛品	32,231	31,982
原材料及び貯蔵品	23,849	23,804
その他	29,279	28,105
貸倒引当金	△1,361	△1,044
流動資産合計	884,010	840,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	158,089	156,333
機械装置及び運搬具（純額）	65,016	66,767
土地	141,423	141,431
建設仮勘定	16,428	14,140
その他（純額）	28,409	28,266
有形固定資産合計	409,367	406,939
無形固定資産		
その他	22,716	23,307
無形固定資産合計	22,716	23,307
投資その他の資産		
投資有価証券	298,894	342,660
その他	109,021	109,936
貸倒引当金	△2,286	△2,250
投資その他の資産合計	405,629	450,347
固定資産合計	837,713	880,594
資産合計	1,721,724	1,720,989

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	238,066	229,541
短期借入金	39,051	38,585
1年内償還予定の社債	52,490	52,430
賞与引当金	18,945	7,254
補修対策引当金	20,636	20,488
その他	111,461	97,768
流動負債合計	480,651	446,069
固定負債		
社債	107,120	107,035
長期借入金	5,977	5,200
補修対策引当金	54,660	52,632
退職給付に係る負債	35,687	34,819
繰延税金負債	42,821	56,607
その他	26,230	25,141
固定負債合計	272,497	281,436
負債合計	753,149	727,505
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	114,464	114,464
資本剰余金	145,024	145,024
利益剰余金	676,346	674,758
自己株式	△122,911	△122,912
株主資本合計	812,923	811,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110,051	140,525
繰延ヘッジ損益	5	5
為替換算調整勘定	△3,448	△6,229
退職給付に係る調整累計額	△3,751	△4,139
その他の包括利益累計額合計	102,856	130,162
非支配株主持分	52,794	51,986
純資産合計	968,574	993,484
負債純資産合計	1,721,724	1,720,989

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	344,575	323,551
売上原価	272,062	257,290
売上総利益	72,512	66,260
販売費及び一般管理費	58,689	56,612
営業利益	13,823	9,648
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,632	2,278
持分法による投資利益	1,437	1,728
その他	1,130	1,356
営業外収益合計	5,200	5,363
営業外費用		
支払利息	497	369
その他	1,485	1,057
営業外費用合計	1,983	1,426
経常利益	17,040	13,585
特別利益		
固定資産売却益	9,368	5
投資有価証券売却益	3	15
その他	27	—
特別利益合計	9,399	20
特別損失		
固定資産除売却損	533	389
投資有価証券評価損	304	688
その他	7	329
特別損失合計	845	1,407
税金等調整前四半期純利益	25,594	12,198
法人税、住民税及び事業税	3,392	2,180
法人税等調整額	2,818	2,191
法人税等合計	6,210	4,371
四半期純利益	19,383	7,826
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,367	425
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,015	7,401



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	19,383	7,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,089	30,765
繰延ヘッジ損益	6	△1
為替換算調整勘定	369	△3,718
退職給付に係る調整額	△246	383
持分法適用会社に対する持分相当額	118	△1,166
その他の包括利益合計	11,337	26,262
四半期包括利益	30,720	34,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,176	34,707
非支配株主に係る四半期包括利益	1,543	△617

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報コミュニ ケーション	生活・産業	エレクトロ ニクス	飲料	合 計		
売上高							
外部顧客への売上高	189,877	94,832	48,085	11,780	344,575	—	344,575
セグメント間の内部売上高 又は振替高	772	296	—	3	1,072	△1,072	—
計	190,650	95,128	48,085	11,783	345,647	△1,072	344,575
セグメント利益	6,845	1,828	10,486	16	19,176	△5,353	13,823

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究並びに各セグメント共有の研究等に  
係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報コミュニ ケーション	生活・産業	エレクトロ ニクス	飲料	合 計		
売上高							
外部顧客への売上高	171,734	90,942	48,468	12,406	323,551	—	323,551
セグメント間の内部売上高 又は振替高	459	51	—	5	516	△516	—
計	172,194	90,994	48,468	12,411	324,067	△516	323,551
セグメント利益	3,561	1,713	9,582	31	14,889	△5,240	9,648

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究並びに各セグメント共有の研究等に  
係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2019年10月に発売したアルコール飲料の販売増加にともない、当第1四半期連結会計期間より、従来「清涼飲料」としていた報告セグメントの名称を、「飲料」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の名称で記載しております。

以 上